

平成3年度 学校基本調査結果

はじめに

この速報は、本年5月1日現在で全国一斉に実施された学校基本調査のうち、本県の集計結果の一部を集録したものです。

集計結果の詳細については、後日「平成3年度茨城の学校統計(学校基本調査結果報告書)」で公表する予定です。

なお、今回ここに登載した数値は、いずれも概数であり、後日文部省で公表する数値が確定数となります。

調査結果の概要

1. 学校調査

(1) 小学校

ア. 学校数

学校数は本校591校、分校3校、計594校で、前年度より2校増加した。

本年度の新設校は、つくば市立松代小学校、神栖町立大野原西小学校の2校である。

イ. 学級数

学級数は7,918学級で、前年度より1学級

表一 1 小学校の学校数等の推移

(単位：校、人)

年 度	学 校 数			学級数	児童数	教員数 (本務者)	1学級 当たりの 児童数	本務教員 1人当たり の児童数
	計	本 校	分 校					
昭和61年度	590(1)	586(1)	4	8 122	260 099	10 966	32.0	23.7
昭和62年度	590(1)	587(1)	3	7 987	250 883	10 913	31.4	23.0
昭和63年度	592(1)	589(1)	3	7 943	244 425	10 838	30.8	22.6
平成元年度	592(1)	589(1)	3	7 946	240 016	11 055	30.2	21.7
平成2年度	592(1)	589(1)	3	7 919	235 269	11 061	29.7	21.3
平成3年度	594(1)	591(1)	3	7 918	231 769	11 132	29.3	20.8

※注 ()内は私立の学校数で、内数である。

表一 2 中学校の学校数等の推移

(単位:校,人)

年 度	学 校 数			学 級 数	児 童 数	教 員 数 (本務者)	1 学 級 当 たり の 児 童 数	本 務 教 員 1 人 当 たり の 児 童 数
	計	本 校	分 校					
昭和61年度	229(6)	229(6)	—	3 712	144 714	6 515	39.0	22.2
昭和62年度	234(7)	234(7)	—	3 763	146 440	6 674	38.9	21.9
昭和63年度	235(7)	235(7)	—	3 702	143 113	6 591	38.7	21.7
平成元年度	235(7)	235(7)	—	3 694	138 249	6 649	37.4	20.8
平成 2 年度	234(7)	234(7)	—	3 707	133 572	6 665	36.0	20.0
平成 3 年度	236(7)	236(7)	—	3 762	130 700	6 882	34.7	19.0

※注 ()内は私立の学校数で、内数である。

減少した。

1学級当たりの児童数は29.3人で、前年度より0.4人減少した。

ウ. 児 童 数

児童数は231,769人(男子118,114人,女子113,655人)で、前年度より3,500人減少し、昭和58年度から9年連続の減少となった。

児童数を市町村別にみると、増加したのが29市町村で、逆に減少したのが59市町村である。

また、第1学年の児童数(本年度小学校入

学者)は36,859人(男子18,624人,女子18,235人)で、前年度より428人減少した。

エ. 教 員 数 (本務者)

本務教員数は11,132人で、前年度より71人増加した。

本務教員数を男女別にみると、男子教員が4,607人(41.4%)で、女子教員が6,525人(58.6%)となり、女子教員の占める割合は、前年度より1.3ポイント上昇した。

本務教員1人当たりの児童数は20.8人で、前年度より0.5人減少した。

■ 調査から

(2) 中学校

ア. 学校数

学校数は本校のみ 236校で、前年度より 2校増加した。

本年度の新設校は水戸市立千波中学校、守谷町立けやき台中学校の 2校である。

イ. 学級数

学級数は 3,762学級で、前年度より 55学級増加した。

1学級当たりの生徒数は 34.7人で、前年度より 1.3人減少した。

ウ. 生徒数

生徒数は 130,700人(男子 66,982人, 女子 63,718人)で、前年度より 2,872人減少し、昭和 63年度から 4年連続の減少となった。

生徒数を市町村別にみると、増加したのが 22市町村で、逆に減少したのが 65市町村、増減なしが 1町である。

また、第 1学年の生徒数(本年度中学校入学者)は 42,519人(男子 21,684人, 女子 20,835人)で、前年度より 1,195人減少した。

エ. 教員数(本務者)

本務教員数は 6,882人で、前年度より 217人増加し、過去最高となった。

表一 3 高等学校の学校数等の推移

(単位: 校, 人)

年 度	学 校 数	生 徒 数			教 員 数 (本 務 者)	本 務 教 員 1 人 当 た り の 生 徒 数
		計	男	女		
昭和 61 年度	127(19)	123 120	62 341	60 779	6 248	19.7
昭和 62 年度	130(19)	127 270	63 874	63 396	6 421	19.8
昭和 63 年度	130(19)	132 474	65 918	66 556	6 577	20.1
平成 元 年度	131(20)	135 787	67 574	68 213	6 712	20.2
平成 2 年度	131(20)	137 069	68 270	68 799	6 769	20.2
平成 3 年度	131(20)	133 183	66 268	66 915	6 808	19.6

※注 ()内は私立の学校数で、内数である。

表一４ 幼稚園の園数等の推移

(単位：園，人)

年 度	園 数			在 園 者 数			修了者数	就 園 率	教 員 数 (本務者)
	計	公 立	私 立	計	公 立	私 立			
昭和61年度	446	245	201	50 480	18 775	31 705	28 668	71.9	2 454
昭和62年度	445	245	200	50 801	18 611	32 190	27 294	71.9	2 468
昭和63年度	449	247	202	51 366	18 431	32 935	26 831	71.4	2 485
平成元年度	448	245	203	51 605	17 876	33 729	27 196	72.5	2 527
平成２年度	448	245	203	51 107	17 181	33 926	26 916	72.2	2 549
平成３年度	445	243	202	50 423	16 431	33 992	26 317	71.4	2 565

本務教員数を男女別にみると、男子教員が4,266人(62.0%)で、女子教員が2,616人(38.0%)となり、女子教員の占める割合は、前年度より1.8ポイント上昇した。

本務教員1人当たりの生徒数は19.0人で、前年度より1.0人減少した。

(3) 高等学校（全日制・定時制）

ア．学校数

学校数は131校(公立111校，私立20校)で、前年度と同数である。

イ．生徒数

生徒数は133,183人(男子66,268人，女子

66,915人)で、前年度より3,886人減少し、昭和57年度以来9年ぶりの減少となった。

生徒数を公立・私立別にみると、公立102,623人，私立30,560人で、私立校の生徒の占める割合は22.9%となっている。

また、生徒数を全日制・定時制別にみると、全日制131,042人，定時制2,052人で、定時制の生徒の占める割合は1.5%となっている。

ウ．教員数（本務者）

本務教員数は6,808人で、前年度より39人増加し、過去最高となった。

■ 調査から

本務教員1人当たりの生徒数は19.6人で、前年度より0.6人減少した。

(4) 幼稚園

ア. 園数

園数は本園のみの445園(公立243園、私立202園)で、前年度より3園減少した。

イ. 在園者数

在園者数は50,423人(男子25,578人、女子24,845人)で、前年度より684人減少した。

在園者数を公立・私立別にみると、公立16,431人、私立33,992人で、私立幼稚園の園児の占める割合は67.4%と前年度を1.0

ポイント上回り、過去最高となった。

本年度小学校第1学年児童数に対する本年3月の幼稚園修了者の比率(就園率)は71.4%で、前年度より0.8ポイント低下した。

ウ. 教員数(本務者)

本務教員数は2,565人で、前年度より16人増加し、過去最高となった。

本務教員1人当たりの園児数は19.7人で、前年度より0.3人減少した。

(5) 盲・聾・養護学校

ア. 学校数

学校数は盲学校1校、聾学校2校、養護

表一五 盲・聾・養護学校の学校数等の推移

(単位：校、人)

年 度	盲				聾				養 護			
	学 校 数	在 学 者 数	教 員 (本 務 者) 数	職 員 (本 務 者) 数	学 校 数	在 学 者 数	教 員 (本 務 者) 数	職 員 (本 務 者) 数	学 校 数	在 学 者 数	教 員 (本 務 者) 数	職 員 (本 務 者) 数
昭和61年度	1	122	55	42	2	197	82	55	15	1 921	663	224
昭和62年度	1	123	54	41	2	204	86	55	17	1 961	707	237
昭和63年度	1	114	51	40	2	205	85	55	17	1 997	732	239
平成元年度	1	112	52	40	2	194	86	55	17	2 021	736	243
平成2年度	1	103	52	40	2	188	85	55	17	1 994	742	246
平成3年度	1	101	55	41	2	188	90	57	17	2 008	775	245

表一六 進路別卒業生数（中学校）

（単位：人，％）

年 度	卒業生数	A. 高等学校等 進 学 者	B. 専 修 学 校 (高等課程) 進 学 者	C. 専 修 学 校 (一般課程) 等 入 学 者	就 職 者	無 業 者	死 亡 ・ 不 詳	A, B, C の うち 就 職 して いる 者 (再掲)	進 学 率	就 職 率
昭和61年度	45 357	42 682	…	806	1 360	499	10	324	94.1	3.7
昭和62年度	46 795	43 983	…	766	1 399	636	11	218	94.0	3.5
昭和63年度	49 006	45 928	…	884	1 501	679	14	282	93.7	3.6
平成元年度	49 265	46 286	…	868	1 478	628	5	288	94.0	3.6
平成2年度	48 690	46 124	246	525	1 368	420	7	339	94.7	3.5
平成3年度	45 766	43 349	229	518	1 226	442	2	241	94.7	3.2

※注1 高等学校等進学者、専修学校(高等課程)進学者、専修学校(一般課程)等入学者には、進学又は入学して就職している者を含む。

注2 平成2年度までは、専修学校等入学者であったものを、平成3年度から専修学校(高等課程)進学者と専修学校(一般課程)等入学者に分けて集計を行った。

学校17校で、前年度と同数である。

イ. 在学者数

在学者数は盲学校101人、聾学校188人、養護学校2,008人で、前年度より盲学校が2人減少、聾学校が同数、養護学校が14人増加した。

ウ. 教職員数（本務者）

本務教職員数は盲学校55人、聾学校90人、養護学校775人で、前年度より盲学校が3人、聾学校が5人、養護学校が33人と、それぞれ増加した。

本務職員数は盲学校41人、聾学校57人、

養護学校245人で、前年度より盲学校が1人、聾学校が2人と、それぞれ増加し、養護学校が1人減少した。

2. 卒業後の状況調査

(1) 中 学 校

平成3年3月の中学校卒業生数は45,766人（男子23,424人、女子22,342人）で、前年より2,924人減少した。

卒業生を進路別にみると、「高等学校等進学者」(進学して同時に就職した者を含む)43,349人(94.7%)、「専修学校(高等課程)進学者」(進

■ 調査から

学して同時に就職した者を含む。)229人(0.5%),「専修学校(一般課程)等入学者」(入学して同時に就職した者を含む。)518人(1.1%),「就職者」(前記の進学者又は入学者に含まれる者を除く。)1,226人(2.7%),「無業者」442人(1.0%),「死亡・不詳」2人となっている。

ア. 進学状況

高等学校等進学者は43,349人で、前年より2,775人減少した。

進学率は94.7%で、前年と同率になっている。

進学率を男女別にみると、男子93.4%、

女子96.1%で、女子が男子を2.7ポイント上回っている。

男子の進学率は、前年の93.2%を0.2ポイント上回り、過去最高となったが、女子の進学率は、過去最高であった前年の96.3%から0.2ポイント低下した。

進学率を市町村別にみると、最も高いのが那珂湊市(98.4%)で、次いで桜川村、新利根村(98.2%)の順となっており、逆に低いのが、牛堀町(87.7%)で、次いで五霞村(87.9%)、神栖町(89.4%)の順となっている。

表一七 進路別卒業者数 (高等学校)

(単位:人,%)

年 度	卒業者数	A. 大 学 等 進 学 者	B. 専 修 学 校 (専 門 課 程) 進 学 者	C. 専 修 学 校 (一 般 課 程) 等 入 学 者	就 職 者	無 業 者	死 亡 ・ 不 詳	A,B,C の うち 就 職 して い る 者 (再 掲)	進 学 率	就 職 率
昭和61年度	37 036	8 441	…	9 670	17 073	1 822	30	302	22.8	46.9
昭和62年度	37 829	8 926	…	11 067	15 564	2 264	8	278	23.6	41.9
昭和63年度	38 753	9 113	…	11 828	15 744	2 049	19	278	23.5	41.3
平成元年度	40 590	9 610	…	12 336	16 672	1 958	14	224	23.7	41.6
平成2年度	42 126	10 272	7 170	6 243	16 877	1 559	5	265	24.4	40.7
平成3年度	43 905	11 352	7 660	6 425	16 699	1 764	5	221	25.9	38.5

※注1 大学等進学者、専修学校(専門課程)進学者、専修学校(一般課程)等入学者には、進学又は入学して就職している者を含む。

※注2 平成2年度までは、専修学校等入学者であったものを、平成3年度から専修学校(専門課程)進学者と専修学校(一般課程)等入学者に分けて集計を行った。

イ. 就職状況

就職者1,226人に、高等学校等進学者のうち就職している者235人、専修学校(高等課程)進学者のうち就職している者2人、及び専修学校(一般課程)等入学者のうち就職している者4人を加えた、就職者総数は1,467人で、前年より240人減少した。

就職率は3.2%で、前年を0.3ポイント下回り、過去最低となった。

就職者総数を県内・県外別にみると、県内1,269人、県外198人で、県外就職者の占める割合は13.5%となり、前年より2.4ポイント低下した。

(2) 高等学校

平成3年3月の高等学校卒業生数は43,905人(男子21,633人、女子22,272人)で、前年より1,779人増加し、過去最高となった。

卒業者を進路別にみると、「大学等進学者」(進学して同時に就職した者を含む。)11,352人(25.9%)、「専修学校(専門課程)進学者」(進学して同時に就職した者を含む。)7,660人(17.4%)、「専修学校(一般課程)等入学者」(入学して同時に就職した者を含む。)6,425人(14.6%)、「就職者」(前記の進学者又は入学者に含まれる者を除く。)16,699人(38.0%)、「無業者」1,764人(4.0%)、「死亡・不詳」5人となっている。

ア. 進学状況

大学等進学者は11,352人で、前年より1,080人増加した。

進学率は25.9%で、前年より1.5ポイント上回った。

進学率を男女別にみると、男子が18.1%で、前年を0.3ポイント上回り、女子が33.3%で、前年を2.6ポイント上回って、過去最高となった。

イ. 就職状況

就職者16,699人に、大学等進学者のうち就職している者28人、専修学校(専門課程)進学者のうち就職している者44人、及び専修学校(一般課程)等入学者のうち就職している者149人を加えた就職者総数は16,920人で、前年より222人減少した。

就職率は38.5%で、前年を2.2ポイント下回り、過去最低となった。

就職者総数を県内・県外別にみると、県内13,313人、県外3,607人で、県外就職者の占める割合は21.3%となり、前年より0.3ポイント低下した。

就職先を産業別にみると、製造業7,585人(就職者総数の44.8%)と最も多く、次いでサービス業3,192人(18.9%)、卸売・小売業、飲食店3,142人(18.6%)等となっている。

就職者総数を職業別にみると、技能工・採掘・製造・建設作業員及び労務作業員6,321人(就職者総数の37.4%)と最も多く、次いで事務従事者4,802人(28.4%)、販売従事者2,254人(13.3%)等となっている。

(統計課・人口労働グループ)